

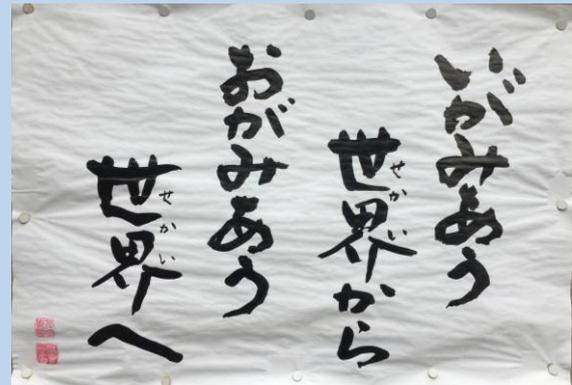
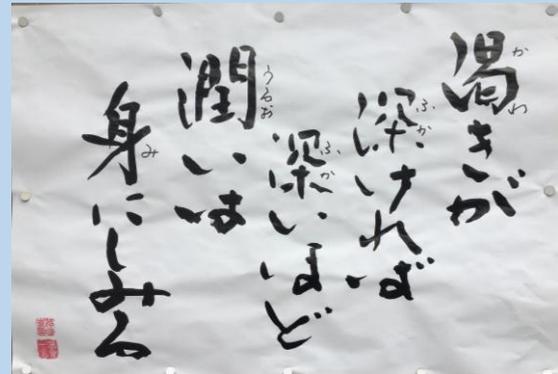
真宗大谷派 存明寺通信

NO.224

2025年(仏歴2556年)3月1日

2026年(令和8年)11月2日(月)・3日(火)に

きょうさんほうよう しゅうそしんらんしょうにんごたんじょう ゑんみょうじ  
慶讃法要(宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年)が存明寺で行われます。



仏さまの教えは、言葉となつて人々に伝わっていきました。渴きを感じている者には、潤いを、いがみあう者たちには、おがみあう世界を伝えていったのです。

人は迷いを抱き、過ちを繰り返す存在です。教えは、そのような人間を、光を放ちながら照らし続けています。

教えは、あなたかかさや厳しさをもって、私に届いてくるもの。その言葉に出会うことを、大切にしたいものです。(住職)

↓インスタ↓

↓存明寺HP↓



ZONMYOJI\_SAKAI



存明寺のHP <https://zonmyoji.jp>

存明寺 Instagram とHP 定期的に更新中!

お寺の活動や諸行事、掲示板の言葉や花手水、法話動画など、定期的に更新中です。ぜひご覧ください。

## 仏典童話

みつ

# 蜜のしずく

酒井 義一（住職）

カーラという名前の旅人がいました。どこまでも続く広い野原を歩いていました。すると、どこからともなく地鳴りが聞こえてきました。あたりを見回してみると、むこうからたくさんゾウの群れがカーラの方に走ってきます。周りには身をかくすところがありません。その時、ツルが垂れている古井戸を見つけました。カーラはツルにつかまりながら井戸の中に身をかくしました。

てこちらをにらんでいる、おそろしい龍だったのです。あわててよじ登ろうと上を見ると、白と黒の二匹のネズミがわかるがわるツルをかじっています。さらにそのネズミをねらって四匹のヘビが井戸のふちにいるではありませんか。カーラはヘビが死ぬほど苦手です。このままでは確実にツルは切れて、龍に食べられてしまいます。カーラは思いました。「なんてオレはついていないんだ」と。

ぼとり。何かがカーラの口に落ちてきました。井戸のふちにはミツバチの巣があり、カーラがおりた時に傷付いた巣から甘い蜜が落ちてきたのです。なんとも言えない蜜の甘さ。カーラは自分が置かれている現実を忘れて、こうつぶ

やきました。「ああ、最高だ。なんてオレはついているんだ」。  
仏典童話『蜜のしずく』、さて皆さん、カーラとはいったい誰のことでしょうか。

### 【お話の解説】

広い野原とは私たちの迷いの世を喻えています。ゾウは何が起こるか分からないこの世の無常を、井戸は人生、ツルはいのち。白と黒のネズミは昼と夜、つまり時の流れをあらわしています。私のいのちは確実に終わりへと近づいているのです。井戸の周りの四匹のヘビは、地・水・火・風の四大を、蜜は私たちの欲を満たすものの象徴です。蜜は私たちの欲に応じていろいろなものに変化します。たとえば：食べ物・飲み物・お金・宝石・車・財産・名声などなど。

そして、龍は死を喻えています。自分が置かれている現実を忘れて、甘い蜜に心奪われて夢中になっている、そんなことを繰り返し

てはいないでしょうか。  
このお話は、現実の問題ときちんと向き合いながら、道を求めて生きていくことの大切さを私たちに教えています。現実の人生を引き受けて、堂々と歩んでいくことのできる教えが、浄土真宗の教えなのですから。

なおこのお話は、『仏説譬喻經』というお経に説かれている、お釈迦様のお説教です。

了



## お寺を あなたの居場所に 存明寺の活動 あれこれ

お寺の行事には大きく分けて二つのことがあります。ひとつは「年中行事」。もうひとつは「教化事業」です。

### ▼年中行事

それは奇数月ごとに開催される仏教の伝統行事です。

\*修正会（1月1日）

↓年のはじめの法要です。

\*春のお彼岸法要（3月20日）

\*永代経法要（5月3日）

↓すべての亡き人を偲んで。

\*おぼん法要（7月13日）

\*秋のお彼岸法要（9月23日）

\*報恩講法要（11月2・3日）

↓親鸞聖人につどう法要です。

どの法要もお寺の本堂で法要・法話が行われます。どうぞお気軽にご参詣ください。

### ▼教化事業

それはお寺独自の取り組みです。

\*樹心の会↓ご門徒や住職からお話があります。語り合いや触れ合いの時間が開かれます。

\*子ども会↓地域の子どもたちが

参加しています。お勤めをして、

毎月の企画を楽しみます。

\*グリーンフェアのつどい↓大切な方を亡くされた人々のつどいです。自分の思いを語り合い、聞き合う、温かなつどいです。

\*子ども食堂↓野菜たっぷりのキーマカレーと共に、人々の居場所を提供しています。

\*輪読会↓副住職夫妻が主催する会です。真宗聖典の輪読やお話、語り合いが行われています。

\*親鸞聖人につどう法要です。

どの法要もお寺の本堂で法要・法話が行われます。どうぞお気軽にご参詣ください。

詳しくは4ページへ



↑親鸞につどう報恩講法要



↑永代経ヒナタカコさんコンサート



↑お寺での法話会の様子



↑五色幕の張られた存明寺本堂



↑副住職夫妻主催の真宗聖典輪読会



↑キーマカレーの子ども食堂

2025(令和7)年 お寺のひろば

- 3月8日(土) 14時 樹心の会  
 3月14日(金) 13時 おそうじの日  
**3月20日(木)** 11時と13時 春のお彼岸法要  
 3月29日(土) 14時 グリーフケアのつどい  
 4月14日(月) 18日(金) **特別企画**  
 東京教区慶讃法要 眞宗会館  
 ※4月の「樹心の会」はお休みとなります。  
 4月25日(金) 10時 おみがきのつどい  
**5月3日(土)** 12時 永代経法要  
 講師:速水 馨さん(元研修部部长)  
 5月17日(土) 14時 樹心の会  
 6月14日(土) 14時 樹心の会  
 6月28日(土) 14時 グリーフケアのつどい  
 7月5日(土) 11時 新盆法要  
**7月13日(日)** 11時と13時 おぼん法要  
 9月13日(土) 14時 樹心の会  
 9月19日(金) 13時 おそうじの日  
**9月23日(火)** 11時と13時 秋のお彼岸法要  
 9月27日(土) 14時 グリーフケアのつどい  
 10月11日(土) 14時 樹心の会  
 10月17日(金) 午後 日帰り旅行会  
 存明寺の歴史を訪ねて(港区への旅)  
 10月24日(金) 10時 おみがきのつどい  
**11月2日(日)** 14時 報恩講のゆうべ  
**3日(月)** 12時 報恩講  
 講師:保々真量さん(九州教区光行寺)  
 11月15日(土) 14時 樹心の会  
 12月13日(土) 14時 樹心の会  
 12月20日(土) 14時 グリーフケアのつどい

東京教区の慶讃法要

東京教区の慶讃法要が行われます。  
 慶讃法要とは、親鸞聖人のご誕生850年・立教開宗800年の節目に行われる大切な法要です。

- 日時 4月14日(月)～18日(金)  
 場所 練馬区谷原 眞宗会館  
 14日(月) 13時 音楽法要  
 15日(火) 午前 帰敬式  
 16日(水) 11時 法話・坂東曲  
 17日(木) 11時 法話・慶讃の夕べ  
 18日(金) 11時 法話・伝統法要

存明寺からも16日と17日にたい焼きとたこ焼きの屋台を出店します。

参加希望者は、お寺までご一報下さい。  
 ユーチューブでライブ配信もされます。  
 「東京教区慶讃法要」で検索を!



【あしがき】

▼存明寺寺報『生きる』春のお彼岸号をお届けいたします。この号は、年に一回すべてのご縁のある方々に郵送させていただきます。ご一読いただけたら幸いです。

▼今年も一年お寺は、仏さまの教えに学ぶ場をひらいていきます。迷いや悩みを抱える私たち人間、教えはそのような人間をあきらめることなく、ずっと照らし続けています。そのことを共に体感していければと思います。

▼2026年の11月には、ここ存明寺でも慶讃法要が行われます。意義深く思い出深い法要になればと願っています。ぜひご予約おきください。

住職 義



東京都世田谷区北烏山4-15-1  
 眞宗大谷派 存明寺(ぞんみんしょうじ)  
 住職 酒井義一(釋諦信)  
 〒157-0061 TEL. 03-3300-5057  
 FAX 03-3300-5880  
 E-mail : sakai@zomyoji.jp